

障がい学生支援センターだより

誰もがいきいきと学べる大学

第 3 号 CONTENTS

※ 養成講座（運動）の開催

今年度 3 回目の「支援技術養成講座（運動）の開催」について、ご紹介します！

※ 『教職員のための障がい学生支援ガイドブック』特集第 3 弾

特集 3 回目は、「災害時における障がい学生への配慮」のポイントについてご紹介します！

ハートサポーター（障がい学生支援スタッフ:AA）大募集！

現在、YU ハートサポーターによる支援を利用しながら学ぶ学生が 2 名います。

1 人は主に移動支援を、もう 1 人は主にポイントテイク支援（代わりにノートを取る）を利用しています。その支援を担当するのが、「YU ハートサポーター」です。

YU ハートサポーターは現在約 60 名いますが、来年度も継続して十分に支援を提供できるよう、後期も以下のとおり、「障がい学生支援技術養成講座（運動）」を開催します！

そこで、**教職員の皆さまにお願い**です！

小白川キャンパスのみの実施ですが、ぜひ**学生さんへの周知**をお願いします。

ご興味のある方は、教職員の皆さまも大歓迎です！ぜひご参加ください。



障がい学生支援技術 養成講座（運動）

- ◆ 日 時： 11 月 25 日（金） 16:20～18:20
- ◆ 場 所： 小白川キャンパス **基盤教育 1 号館 126 教室**
- ◆ 講座内容： 運動障がいとその支援に関する理解
運動障がい学生への支援の実技実習
- ◆ 申込方法： 事前に支援センター（裏面）にお申し込みください。
追って詳細をお知らせします。
- ◆ 申込締切： **11 月 21 日（月） 16 時締切**

YU ハートサポーターとして活動するには？

障がい学生支援センターにて
YU ハートサポーターとして登録

障がい学生支援技術養成講座受講

支援技術を身につけた後、
空きコマ等を利用して活動開始！



移動支援の様子

誰もがいきいきと学べる大学

支援
学生

障がい
学生

関係
教職員

支援
センター

『教職員のための障がい学生支援ガイドブック』をぜひご活用ください！ PART 3

昨年度末に配布しました「教職員のための障がい学生支援ガイドブック」、もうご覧いただけましたでしょうか？

支援ガイドブック特集第 3 回では、「**災害時における配慮**」(P.5) についてご説明します。万が一に備え、ぜひご一読ください！

障がい
共通

- **自力で避難できない学生がいないかどうか、受講生や周囲を確認**してください。
- 配慮が必要な学生に支援者がついていない場合は、本人に確認の上、その場で補助する方をつけてください。
- 避難指示や校内放送等の音声情報は、**板書等、目に見える形で的確に伝えて**ください。

視覚障害

- 誘導する際は、支援者のひじの少し上を当該学生につかんでもらって歩いてください。
- 誘導中の周囲の状況を口頭で伝え、段差や瓦礫、足下や頭上の障害物に、充分注意を払ってください。



▲視覚障害学生の手引き

聴覚障害

- 避難時も避難後も、以下のように音声情報を目に見える形で的確に伝えてください。
— 筆談（板書、ホワイトボードに書く、携帯のテキスト入力）、身振り等



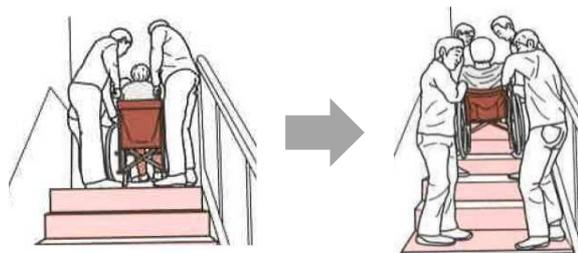
▲聴覚障害学生に筆談で伝える

運動障害

- 車椅子使用学生の場合、階段を下りる際は、障害学生を 1～2 名で抱えて、避難させてください。車椅子はたたんで別の人が運ぶようにしてください（推奨）。
- あるいは、車椅子に乗せたまま、避難させてください。
その場合は、下図のとおり、階段に対し、車椅子が後ろ向きになるようにして、4 人がかりで移動させてください。前側に 2 人、後側に 2 人つき、それぞれ車椅子の安全な箇所（外れない箇所）を持って、介助してください。
- 無理なときは安全を第一に考え、周りの人に声をかけ、手伝ってもらいましょう。
- 移動介助する場合は、必ず「前に進みます」「下ります」等と、声をかけてください。

ポイント

- ◆ 階段を背にして、4 人で下ろす
- ◆ 声と力を合わせてゆっくり下ろす

▲階段での車椅子使用学生の移動介助
(車椅子に乗せたまま下ろす場合)

発達障害

- 全体指示が伝わっていない学生には、個別に、視覚情報を交えて、具体的かつ簡潔に指示してください。
- どうしたらいいかわからず不安そうな学生がいたら、一緒に避難してください。



その他にも、「教職員のための障がい学生支援ガイドブック」には、障がい学生への様々な配慮等について記載していますので、ぜひご覧ください！ 障がい学生への支援や配慮についてご質問・ご相談があれば、遠慮なく支援センターまでお問い合わせください。